

# 議会 だより

鳴門市  
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会  
編集／議会広報委員会  
発行／2023年(令和5年)12月1日



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

## 目次

令和5年第3回定例会の議決結果	②
請願の処理、人事案件	②
委員会審査	③～④
一般質問	⑤～⑪
決算審査	⑪～⑫
行政視察	⑬
鳴門高校の生徒と議員が意見交換で交流	⑭～⑮
令和5年第4回定例会の予定、ご意見箱	⑯

### ●鳴門高校作成●

～意見交換会とそれに向けたクラスでの話し合いの様子～

《意見交換会》令和5年10月20日開催  
詳細は、14～15ページをご覧ください



鳴門高校では、勉強や部活動に限らず、ボランティア活動や国際交流にも力を入れています。今回の鳴門市議会との交流を通して、地域に対する考えが深まりました。鳴門のミライを担う鳴門の健児に熱い応援をお願いします。

## 《令和5年第3回定例会の議決結果》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第43号	令和5年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	予算決算
議案第44号	令和5年度鳴門市一般会計補正予算（第4号）		
議案第45号	令和5年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第2号）		
議案第46号	令和5年度鳴門市下水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第53号	令和5年度鳴門市一般会計補正予算（第5号）		
議案第47号	鳴門市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第48号	鳴門市火災予防条例の一部改正について		
議案第51号	財産の取得について		
議案第49号	鳴門市印鑑条例及び鳴門市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第50号	鳴門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について		
議案第52号	訴えの提起について	原案可決	産業建設
報告第9号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について	報 告	産業建設
報告第10号	令和4年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について		予算決算
報告第11号	令和4年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について		
報告第12号	継続費精算報告書について（鳴門市一般会計）		
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について	同 意	

### 請願の処理

請願番号	案 件	議決結果	所管の委員会
請願第6号	「物価高騰に見合う生活保護基準の引き上げを求める」意見書を国へ送付することを求める請願書	継続審査	生活福祉

## 人事案件

〔諮問第2号〕

### ●人権擁護委員

よねざと よしゆき  
**米里 栄之** 氏（大麻町）

ばんどう じゅんこ  
**板東 順子** 氏（里浦町）

えみ じゅんこ  
**恵美 純子** 氏（鳴門町）



### 新庁舎 見学会

令和5年9月28日、  
建築中の新庁舎を議員が見学し、  
工事の進捗状況について説明を受けました。





## 総務文教委員会

### ●議案第48号

#### 鳴門市火災予防条例の一部改正について

消防法施行規則等の改正に伴い、蓄電池設備に係る基準の見直しを行うなど、所要の改正を行うもの。

**【質疑】** 現在、4800アンペア

ワー・セル以上の電力量を有しているため消防署へ届出をしている蓄電池設備は何箇所か。

**【答弁】** 127箇所ある。

**【質疑】** 改正により届出が必要となる方への通知はどのように行うのか。

**【答弁】** 既に設置されている設備については、現行の規定が適用されることから、新たに届出をする必要はない。



**【質疑】** 厨房設備の固体燃料を用いた機器の離隔距離が、改正案では新たに定められることになるが、これまでに固体燃料を用いた機器を設置している方と、改正条例の施行後に設置する方とは不公平はないのか。

**【答弁】** これまでに設置している方が、改正条例の施行後、新たに設置をする場合には改正後の離隔距離で設置することになる。

## 生活福祉委員会

### ●議案第49号

#### 鳴門市印鑑条例及び鳴門市手数料徴収条例の一部改正について

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、マイナンバーカードに記録されている電子証明書をスマートフォンに搭載することが可能となったことから、所要の改正を行うもの。

**【質疑】** スマートフォンを使ったコンビニのマルチコピー機での証明書などの発行はいつから開始されるのか。

**【答弁】** 国からは令和5年中に開始すると聞いている。

**【質疑】** どれくらいの方がスマートフォンを使った証明書などの交付を受けると想定しているのか。

**【答弁】** 現時点では、Android9.0以降の端末のみが対応していることから、利用者数は限定的になると考えている。マイナンバーカードの有無によって手数料に差を設けることは公平性に欠けるため、公平性が担保できる取り組みを国や県に要望するべきである。



## 産業建設委員会

### ●議案第52号

#### 訴えの提起について

市有地に係る土地明渡等請求事件に関し訴えを提起することについて、議会の議決を求めるもの。

【質疑】 本件土地は狭い土地だが、どうしてこの部分だけ市有地なのか。

【答弁】 土地区画整理事業の中で市有地や民地を区画整理した結果、残地として本件土地が生じた。

【質疑】 相手方が本件土地の原状回復に応じた場合、土地の活用予定はあるのか。

【答弁】 使用予定は現在のところはないが適正に管理したい。

【質疑】 本件土地が相手方から市へ返還される場合、相手方の建物を壊すなどの影響はないのか。

【答弁】 本件土地には相手方の給湯器が置かれているが、建物自体への影響はないと思われる。

【要望】 本件以外の市有地の管理についても状況を把握し、維持管理対策を考えてほしい。



## 予算決算委員会

### ●議案第44号

#### 令和5年度鳴門市一般会計補正予算(第4号)

物価高騰による影響額を価格に転嫁できない事業者をはじめとする各種事業者への支援事業や新型コロナウイルススワクチンの秋接種に向けた事業、地域防災リーダー養成事業、サイクルツーリズム推進事業など、本市の将来を見据えた施策に必要な予算を編成。

【質疑】 地域防災リーダー養成事業の内容は。

【答弁】 以前から、徳島県と徳島大学の共催で防災士の養成講座が実施されているが、定員数の関係で希望どおりに市民が受講できないことがあるため、身近な場所で防災に関する知識を身に付ける機会を提供できるよう、市独自に実施するもの。2日間の集合研修を受講し、受講修了後に防災士の試験を受けてもらう。定員は70名。対象者は、市民及び市職員。



【質疑】 防災士資格取得者をどのように活かして行くのか。

【答弁】 家具の固定や非常用物資の備蓄などを知人や地域の方々に広めてもらうとともに、地域や職場の避難訓練でリーダー役を担っていただくなど、地域防災力の向上に貢献してもらいたい。

# 一般質問

## 代表質問

### ① 圃山 俊作(会派 潮)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 9月補正予算について
- (2) スポーツ施設の整備について
- (3) 公共交通について



### ④ 八木 亨(会派 平成なると)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) コウノトリについて



### ② 野田 粹之(会派 創心クラブ)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) スポーツ施設について

#### 2. 教育行政について

- (1) 教員不足への対応について



### ③ 江戸 貴志(会派 ナルト地方創生)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) ボートレース事業について
- (2) 公園の利活用について



### ⑤ 前田ナツ子(会派 公明党)

#### 1. 福祉行政について

- (1) がん予防対策について
- (2) インフルエンザ予防接種助成金について

#### 2. 環境行政について

- (1) 指定ごみ袋無償交付について



### ⑥ 潮崎 憲司(会派 未来)

#### 1. 防災行政について

- (1) 現在の避難所等の運営について
- (2) 危機管理監の今後の取り組み方針について

#### 2. 土木行政について

- (1) 市道中島田室線の復旧工事について

#### 3. 公共交通について

- (1) 公共交通空白地域の解消に向けた取り組みについて

**問** 市長が公約として掲げたスポーツセンターと屋内プールについて、現在、どのように考えているのか。

**答** 市の財政状況や公共施設全体の

### スポーツセンターと 屋内プールの施設規模

**答** 限られた財源の中でより多くの効果を生み出すことを念頭に、国の支援策や本市のこれまでの各対策を踏まえるとともに、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の交付対象事業として国から示された推奨事業メニューを考慮して、事業の検討を重ねた。その結果、さらなる子育て世帯への支援や電力、ガスなどのエネルギー価格高騰の影響を直接受けている事業者などへの支援を中心に物価高騰対策を行うこととした。

**問** 今回予算計上された物価高騰対策について、どのような方針で事業を検討したのか。

### 物価高騰対策の方針



会派 潮  
はたけやま 圃山  
しゅんさく 俊作

**問** 地域の公共交通を考えるにあたり、何を重要課題として捉えているのか。

**答** 公共交通空白地域の解消を図り、多様なニーズに対応した持続可能な公共交通体系の構築を行うことが特に重要であると認識している。

### 地域公共交通の重要課題

最適化などの観点を踏まえ、市民が安全に安心してスポーツに取り組みむことができ、地域の活性化にもつながるスポーツセンターと屋内温水プールの整備に向けた検討を進めている。スポーツセンターのアーナは、鳴門市市民会館の規模を基本とし、屋内温水プールは、老朽化している市内小中学校のプールを



令和2年9月に閉館した市民会館

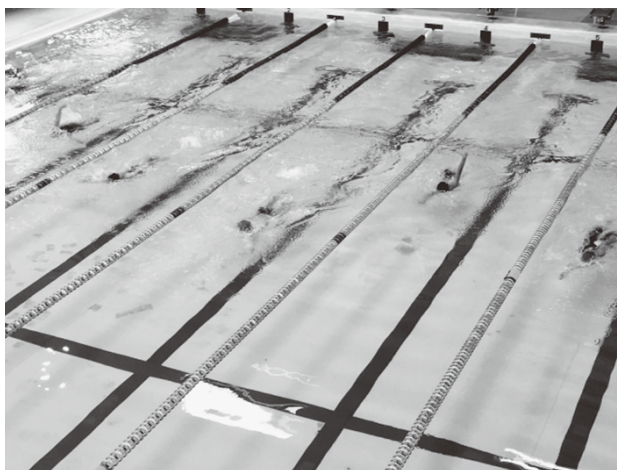




会派 創心クラブ  
の だ 野田 粹之  
きよゆき

## スポーツ施設の整備

**問** スポーツ施設については、所信表明の中で、市の財政状況や公共施設全体の最適化などの観点を踏まえ、地域経済の活性化につながる施設を検討し、施設整備の準備を進めていくとのことであるが、どのような施設を考えているのか。それを具体的に示せるのはいつになるのか。



**答** アリーナについては、長年市民の皆様にあいさつされ、利用されてきた鳴門市市民会館と同規模の施設を基本とし、屋内温水プールについては、老朽化している市内小学校のプール17か所を集約することを前提として、中学校の大会ができる施設規模を基本として考えている。時期については、令和6年度中に基本構想を示せるよう検討を進める。

## 教員不足の解消

**問** 教育現場では教員不足によりさまざまな問題が起きているとのことだが、鳴門市の学校現場の状況、取り組みや対応は。

**答** 教員不足に関しては、教員が産・育休や病休などになったときの補充教員不足が大きな課題。カバーする他の教員の負担が増えるなど、学校運営上支障を来している。取り組みや対応については、県への要望、鳴門教育大学への協力要請などを行っている。国も新年度予算において学校現場を支援する動きがあることから、その動向も注視しながら学校現場のさまざまな課題解決に向け取り組んでいく。



会派 ナルト  
え 江戸 貴志  
たかし 地方創生会

## 公園の維持管理と利活用

**問** 鳴門市の管理する公園の中でも、鳴門ウチノ海総合公園、うずしおふれあい公園、鳴門総合運動公園は、市内外の方々にご利用され整備も行き届いた自慢の公園である。しかし、鳴門市には他にも小さな公園が多くあり、その現状は雑草が生い茂り木の枝は伸び、とても公園として利用できる状況ではない。私の住んでいる地域の自治会でも年に何回か除草作業を行っているが、生えるスピードが早く、遊ぶためではなく、草を刈るための公園になつていくように思う。利用者が少なく雑草の管理が大変だからと廃止することは難しく、現在のまま放置すると利用者は少なく、近隣住民の苦情などにより毎年管理費や管理作業に追われてしまう。この現状や今後の公園の維持管理、利活用について、どのように考えているのか。

**答** 鳴門市が管理する都市公園は48カ所あり、そのうち11カ所は市が

直接管理し、残りの公園は各地区自治振興会などに管理を委託している。さまざまな形態で市有地以外に設置された公園は、周辺住民やボランティアの協力のもと、管理をしている。街区公園や児童遊園など、小さな公園はメンテナンスフリーなどの省力化が課題である。今後は、雑草抑制対策としてさまざまな手法を費用対効果も含め検討し、地元の方々に活用してもらえよう努める。

今年、鳴門ウチノ海総合公園が開園20周年を迎えることから、11月3日に「SDGsを学ぼう!」をテーマに体験し学び交流できるイベントを行う予定。SNSなどを活用し公園の魅力を発信し、県内外の多くの方の利活用促進を図っていく。





会派 平成なると  
やぎ 八木 亨  
とおる

## 新庁舎へのコウノトリの ブース設置

**問** 2017年、鳴門市で兵庫県豊岡市周辺以外では全国初の野外繁殖が実現され、7年連続で20羽が巣立って行った。市はコウノトリを市の鳥に指定し、コウノトリブランド認証制度の創設やコウノトリ特別住民票を発行するなど、コウノトリを活用した地域振興に取り組んでいる。全国有数のコウノトリの飛来地であり、繁殖地である鳴門市のコウノトリを全国のみならず世界に発信し、市の鳥であるコウノトリを農業や地場産業、観光などの振興に今以上に積極的に活用すべきであると考えている。コウノトリを活かした振興策について、市長の方針を聞きたい。

**答** 本市では、これまで2015年2月に大麻町に雌雄2羽のコウノトリ「あさひ」「ゆうひ」が飛来、営巣をしたことを契機として、コウノトリを通じた市内外での交流をはじめ、市の鳥への指定を行うなど、

代表質問



鳴門市コウノトリブランド認証制度  
ロゴマーク

コウノトリの活用を進めてきた。具体的には、コウノトリが定着できる環境を活かした農業や観光振興、地域の活性化については、国や県、JA、観光団体、商工会などとも連携しながら、鳴門市コウノトリブランド認証制度によるブランド化や市内でのモデルツアーの企画・実施、都市部でのキャンペーンに取り組んできた。また、コウノトリが安心して住み続けるまちづくりやブランド農業の振興を目的としたふるさと納税、一般企業から寄付金をいただくなど、関連施策の推進に市内外からのご協力もいただいている。こうしたことを踏まえ、今後の方針としては、引き続き、国・県、JA、観光関係者などと連携しながら、さらなる地域活性化やブランド振興に取り組んで行く。



会派 公明党  
まえだ たつこ 前田ナツ子

## がん検診受診率向上に 向けた取り組み

**問** がんは早期発見、早期治療であれば完治する確率が高い。検診受診率の向上に向け、がん教育の現状と乳がんグロブの導入についての考えは。

**答** がん教育については、小中学校の保健授業において、発達段階に応じた健康教育を実施している。外部講師の活用も検討し、がん教育の一層の推進に務めていく。

乳がんグロブに関して  
は、医療機関  
の見解や国・  
県の動向など  
を注視し、活  
用の是非につ  
いて研究して  
いく。



## 子どもインフルエンザ 予防接種助成金

**問** 新型コロナウイルス感染症の5

類感染症への移行による感染症対策の緩和により、季節外れのインフルエンザが猛威をふるった。子育て世帯の経済的負担軽減のため、幅広い年代の子どもへのインフルエンザ予防接種助成金の新設と受験生対象のインフルエンザ予防接種の無料化の継続の考えは。

**答** 中学3年生と高校3年生を対象としたインフルエンザ予防接種助成事業に関する費用を今回の補正予算案に計上。来年度以降の当該助成事業の継続の有無や対象者の範囲は、市民の反響や実施内容に対する評価などを踏まえ、慎重に検討を行い、判断する。

## 無償交付される 指定ごみ袋のサイズ変更

**問** 市民税非課税世帯で70歳以上の一人暮らし世帯に無償交付している指定ごみ袋のサイズ変更についての考えは。

**答** 無償交付する指定ごみ袋のサイズについては、生活様式の変化などに注視し、指定ごみ袋制度の目的と交付対象世帯の経済的負担軽減などを考慮し、研究したい。





会派 未来  
しおざき けんじ  
潮崎 憲司

### 市道中島田室線の修繕

**問** 瀬戸町島田地区の市道中島田室線の田尻から室までの区間が路面下の空洞などにより通行止めになり、4年が経過した。現在の復旧工事の進捗状況などは。

**答** 市道中島田室線の復旧工事については、通行の安全面も考慮し、堤防や護岸を設置して、施設の前面に消波工を建設する必要があると考える。しかし、当該通行止区間は、瀬戸内海環境保全特別措置法の適用区域で、海岸法による漁港海岸・港湾海岸・農地海岸・共管・建設海岸の5種類の海岸保全区域に属さない徳島県が管理する一般公共海岸であり、施設を設置するには、一般公共海岸区域から海岸保全区域に変更する必要がある。このため、県に対して浸食防止対策を要望しているところであり、浸食対策が承認され、計画された後に市道中島田室線の復旧を検討していく。

### 公共交通空白地域の解消

**問** 市道中島田室線の通行止めに伴う、交通弱者の支援や交通空白地域の解消については。

**答** 令和5年2月に策定した鳴門市公共交通計画では、公的資金投入額を抑制する中で、新たな移動手段の確保や既存の交通資源の活用による公共交通空白地域解消を今後の取り組み目標としている。目標達成に向けた事業の一つとして、現在、大津町矢倉地区において、株式会社鳴門自動車教習所の送迎車両を活用した地域住民の移動支援を実施している。今後においても、公共交通空白地域の解消や地域に寄り添った公共交通体系の構築に向けて、引き続き取り組んでいく。



鳴門自動車教習所の送迎車両

## 個人質問

### ① 三津 良裕

#### 1. 安全なまちづくりについて

- (1) 危険な河川の管理について
- (2) 市道明神日出線について

#### 2. 教育行政について

- (1) 2学期制について
- (2) 小・中学校の通学区の弾力化について

#### 3. 廃坑施設の活用について

- (1) 旧島田小学校・幼稚園の活用について



### ④ 高麗 裕之

#### 1. 物価高に負けない支援策について

- (1) 物価高騰対策について

#### 2. 道の駅「くるくる なんと」について

- (1) お盆期間を含む8月の利用者数について
- (2) 道の駅「くるくる なんと」の現状について

### ② 長濱 賢一

#### 1. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 鳴門市新型コロナウイルス感染症の現状とコロナ施策の効果について

#### 2. 物価高騰対策について

- (1) 鳴門市の物価高騰対策について

#### 3. 鳴門市のまちづくりについて

- (1) 第七次鳴門市総合計画・都市計画マスタープラン・立地適正化計画等について
- (2) 鳴門市の目指す都市像の実現に向けての施策について

### ⑤ 宅川 靖次

#### 1. まちづくりについて

- (1) 空き家対策について

#### 2. 道の駅「くるくる なんと」について

- (1) 今後の展望について

#### 3. 地域コミュニティについて

- (1) 地域の伝統芸能について
- (2) 鳴門のまつりについて

### ③ 上田 公司

#### 1. ごみ処理業務について

- (1) 民間委託について
- (2) 収集業務について

#### 2. クリーンセンターについて

- (1) 公文書管理について
- (2) 運転管理について

#### 3. デジタル化について

- (1) 情報セキュリティーについて
- (2) 管理体制について



### 《 傍聴席 》



傍聴人の定員は 40 名です





みつ よしひろ  
三津 良裕  
(創心クラブ)

### 危険な河川の管理

**問** 鳴門市の河川に係留されている多くの船舶が、台風による高潮や満潮時の河川の氾濫、洪水などにより流され、民家に突入する危険性を有している。どのような危機管理対策をとっているのか。

**答** 河川区域内の不法係留船への対策として、不法係留船および係留施設の撤去に関するマニュアルを作成し、処理している。国交省などに登録情報を照会し、所有者が判明した船舶に対しては、撤去に関する通知文を送付した。また、廃棄物と判断した沈船はマニュアルにより除却を命ずる公告の掲示および貼紙を行った上で撤去した。令和5年7月時点で沈船はなく、不法係留船も161隻となり、令和3年7月から49隻減少した。

### 市道明神日出線の未整備区間

**問** 市道明神日出線の改良工事は1

期から3期事業区間の580メートルが整備されている。残りの区間の進捗状況と今後の対応は。

**答** 残りの4期、5期事業区間の延長560メートルについても、生活道路であり、防災上重要な道路であるため、補助対象事業として毎年、整備計画を県に提出している。一部の地権者から同意がないが、今後も事業推進に向けて取り組みたい。

### 旧島田小学校・幼稚園の活用

**問** 施設全体の活用は。また、メモリアルルームにある住吉丸事件の歴史的資料は、どうするのか。

**答** 将来的には、建物全体を「増田ミュージアム」として、セミナーや見学ツアーを行うなど、目標実現に向けて取り組みたい。資料は、瀬戸中学校に移管。平和教育に活用し、戦争の事跡を語り継ぎたい。



旧島田小学校のメモリアルルーム



ながはま けんいち  
長濱 賢一

### 物価高騰対策

**問** 物価高騰による本市経済や市民生活への影響と、本市の物価高騰対策の目標と効果は。

**答** 地域経済や市民生活の負担増を認識している。物価高騰対策の補助などの支援を受けた方には、ニーズや意見の聞き取りを随時行い、次の施策に活かしている。なお、総合計画実施計画に掲載する事業については、目標設定し、事業推進をしており、今後も成果目標設定を検討する。財源は、国の臨時交付金のほか、本市独自財源として財政調整基金とモーターボート競走事業会計繰入金などを基にした新型コロナウイルス感染症対策基金を活用している。9月補正予算成立後の当該基金の残額は約1億1800万円となる見込み。

### 鳴門市のまちづくり

**問** 総合計画を実現するための都市

計画マスタープラン、立地適正化計画の実施計画や施策について問う。

**答** 総合計画実施計画は、主要な事業の年次計画や事業量を明らかにするものであり、今後の社会経済情勢や市民ニーズ、財政状況などの変化に適切に対応するため、ローリング方式による検証と評価、見直しを行っている。また、都市再生整備計画を含め総合的な観点から都市計画に係る各種制度の活用を検討する。



現在の大道銀天街

**要望** 今後もEBPMサイクルによるロジックモデルを活用した施策策定、成果の見える化、官民一体となったまちづくりを要望する。また、オープンゲート構想の実現に向けた旧瀬戸幼小・旧島田幼小利活用事業について、民間事業者への支援や、閉鎖されたままの市道の修復、サイクリング道の整備などを要望する。



うえだ  
**上田**  
こうじ  
**公司**

### ごみ収集の業務委託

**問**ビンとペットボトルの収集業務の費用比較については、直営が2063万円、委託が2033万円とほぼ同額だが、委託では直営時の4人体制と燃料費がどのような取扱いなのか。また、じん芥収集委託業務が、来年度から単年度3000万円が計画されているが、直営との比較は。

**答**委託人員は直営時と同じ4人を見込み、燃料費は委託料に含んでいる。また、じん芥収集車10台による収集のうち、2台、人員5人分の業務を来年度から委託予定だが、費用は直営と同程度になる。

### クリーンセンターの 運転管理

**問**市は、完全燃焼の範囲を変更したと主張するが、その決定を証明する公文書は全く存在せず、逆に当時の補助金申請書では変更前の範囲を記載している。結局は、性能不足を

隠すための主張や業者による測定値の不正であり、もはや市としてカミングアウトするしかないと思うが、市の考えは。

**答**補助金交付申請書には、変更前の二次燃焼室で再燃焼させることを記載している。変更に至った経緯についての公文書が確認できないことから、十分な説明ができないことについては、じくじたる思い。

### 市の情報セキュリティ

**問**国はセキュリティポリシーに関して、基本方針は公開が望ましいとしているのに、市は公開していない。今後の公開を提案するが市の考えは。また、課長が電子機器を持ち出す場合には、その可否を自ら判断できず、上司の許可が必要なのに、部下はその課長からの許可だけでOKとは、何のための許可なのか。

**答**基本方針に関しては、今後公開を検討する。また、管理職の持ち出しの際の許可に関しては、より強化されたセキュリティ対策を施すためである。



こうらい  
**高麗**  
ひろゆき  
**裕之**  
(未来)

### 現金給付や うずとく商品券の配布を

**問**物価高騰の影響は、事業者だけでなくすべての市民の生活に影響を与えている。より幅広い市民生活の支援として、現金給付やうずとく商品券配布を行ってはどうか。

**答**今回の対策は、国からの重点交付金を活用し、子育て世帯、医療機関、福祉施設、中小企業事業者や農水産業者への重点的な支援を通じて、市民生活に与える影響をより多く軽減できるように配慮した。今後は、国、県などの動向を見極め、市民生活などへの物価高騰に対する支援が的確に実施できるよう取り組む。

**要望**現金給付やうずとく商品券の配布による支援は物価高騰対策として効果が高い。1万円の現金給付またはうずとく商品券の配布を強く要望する。

### シャトルバスの運行を

**問**道の駅「くるくる なんと」が地

域振興に絶大な効果をもたらしている。渋滞解消、利用者の利便性向上、安全性の確保を目的として、臨時駐車場からシャトルバスを出してはどうか。

**答**臨時駐車場から目的地である道の駅「くるくる なんと」までの距離は300m程度であり、所要時間は徒歩5分程度となっている。シャトルバスを利用する方がかえって施設到着までの時間を要するケースが多くなるものと認識している。現在、駐車場が不足しているため、駐車場用地の拡張に向け、関係者と協議に取り組んでいる。

**要望**早急に駐車場用地を拡張し、渋滞解消に取り組んでほしい。



道の駅「くるくる なんと」





たかくわ やすじ  
**宅川 靖次**  
(平成なると)

**空き家対策**

**問** 空き家などの発生の抑制に向けて、今後どのように対応していくのか。また、地区を限定した新たな取り組みとは。

**答** 空き家の増加率を抑制するため、空き家や木造住宅耐震化などの補助制度の活用のほか、空き家相談会の実施、エンディングノートの活用促進などに努めていく。また、地区を限定した新たな取り組みについては、大麻町板東地区の空き家約220戸から所有者などの確認など、総点検を実施したいと考えている。

**道の駅「くるくるなる」とのさらなる活性化**

**問** 道の駅「くるくるなる」とについて、さらなる活性化に向けての今後の展望は。

**答** 新たな顧客の取り込み、リピーターの確保に繋げるため、地域特産物と運営会社のノウハウを活用した新たな商品開発や消費者ニーズに

対応した売り場づくりに引き続き取り組みしていく。一方、開駅2年目を迎え、土日・祝日を中心に駐車場の不足しているため、まずは利用者への快適な道路交通環境の提供と安全性の確保を優先にし、駐車場の拡張やアクセス性向上に向け、引き続き関係者との協議に鋭意取り組んでいく。



消費者ニーズに対応した「くるくるなる」の売り場

**地域の伝統継承**

**問** 地域の伝統芸能の継承をどのように考えているのか。

**答** 市内各地において、住民の皆様により、地域の伝統芸能やお祭り、風習などが継承されているが、核家族化の進行や少子高齢化に伴い、後継者不足による今後の継承が課題となっているものと認識している。今後はさらに自治振興会の皆様にも協力を頂き、地域の伝統文化について市公式ウェブサイトなどで周知する機会を創出していく。

令和4年度決算審査

■令和4年度の決算を審査しました■

5日間にわたり予算決算委員会を開催し、令和4年度決算に関する議案13件について審査しました。

【委員会での審査の中で出た質疑やそれに対する答弁を抜粋したものです。】

教育

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

【教育】

- 学力向上対策推進事業の令和4年度の実施内容と今後の取組は？
- 令和4年度の実施内容としては、「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策の検討を行ったほか、小学校3年生から6年生と中学生を対象にQUアンケートの実施、各学校への新聞の配備を行った。また、「理数オリンピック」への参加意欲のある生徒を増やすため、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「オンライン理数教室」として、大学の授業に中学生が興味を持てるよう講義を開催した。今後の取組としては、学力向上施策「なると うずつ子 学力向上パッケージ事業」を実施しているが、その成

果と課題を検証しながら学力の向上に努めたい。

\* \* \*

- 「鳴門市学校・幼稚園防災対策計画」に基づき、学校防災推進会議を開催し、重点取組項目を取り決め、取組状況の検証を行ったとのことであるがその具体的な内容は？
- 令和4年度は、防災教育の充実の観点からフェーズフリーに関して、教職員の研修を充実させた。また、地域連携の観点から、コミュニティ・スクールを生かした防災教育の推進、中学校区単位の関係機関団体との連携、避難所の運営指南の4項目を重点取組項目とし、実施・検討を行った。

## 移住定住

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

### 【移住定住支援】

■なるど結婚新生活支援補助金については、実費が支給されるのか？

●市内で新婚生活を開始する夫婦ともに39歳以下の新婚世帯の住居に係る初期費用を支援するため交付するものであり、敷金、礼金、仲介手数料、引っ越し費用などに相当する部分について、世帯所得により30万円もしくは15万円を上限として実費に対して交付している。



交付するものであり、敷金、礼金、仲介手数料、引っ越し費用などに相当する部分について、世帯所得により30万円もしくは15万円を上限として実費に対して交付している。

\* \* \*

■なるど新婚世帯家賃補助金およびなるど定住促進住宅取得補助金の令和4年度の交付の内訳は？

●なるど新婚世帯家賃補助金は、夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対して、世帯所得により月々1万円または月々5,000円の補助を行うものであり、令和4年度は50世帯に対して160万5,000円を交付した。

なるど定住促進住宅取得補助金は、市内に住宅を取得する夫婦のいずれかが39歳以下の世帯に対して最大で100万円の補助を行うものである。新築住宅の場合は30万円、中古住宅の場合は20万円が基本額となっており、種々の条件を満たすことにより補助金額が加算される。令和4年度は、86世帯に対して総額5,060万円を交付した。



## 生活

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

### 【地域振興】

■自治会の加入率低下が問題となっているが、実情は？

●5年前の平成29年度には59.2%、令和4年度には55.6%と、3.6%低下しており、深刻な状況と受け止めている。

★自治会がイベントを実施することで加入促進につながると考えるため、頑張っている地域への支援策を検討してほしい。



### 【スポーツ】

■スポーツコミッション活動推進事業のうち、スポーツ大会・合宿の誘致について、どのような取り組みを行ったのか？

●事前に旅行代理店を訪問し本市の魅力を紹介することが効果的であることから、令和4年度は、関西圏のスポーツに関する学生合宿などを数多く手がけている旅行代理店を選定して訪問した。訪問内容は、本市での大会・合宿の開催をPRする営業活動のほか、スポーツ施設や観光情報などの紹介、学生合宿のトレンド情報の収集。

## その他

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

### 【産 業】

■サテライトオフィスの誘致について、ウェブサイトを利用した認知度向上の取り組み状況は？

●進出を検討する企業に地元企業を知っていただき、地元企業との関わりの中で進出を検討していただくことを目的とし、企業誘致専用ウェブサイト「NARUTO.biz」を作成した。「NARUTO.biz」には地元企業のインタビュー・紹介動画や各種支援制度を掲載し、都市部企業に対するアプローチを図った。

★コロナ禍において、都会を離れ、本社機能を地方に分散する企業が増えた。今こそ交通の便が良く、自然や食べ物に恵まれた鳴門についてもっと情報発信してもらいたい。

### 【消 防】

■救急救命士の人数と乗車率は？

●現在、資格保有者は29人、実働人数は19人で、そのうち3名が女性である。乗車率については、救急車1台につき1人以上の救急救命士が乗車しており、100%を確保している。

★救急活動の質の向上、隊員の負担軽減につながる救急救命士2名乗車体制の構築に向けて努力してほしい。





## 【総務文教委員会】10月24日～26日

◎長濱 賢一 ○八木 亨 秋岡 芳郎  
東谷 伸治 前田ナツ子 三津 良裕  
東 正昇 (◎は委員長、○は副委員長)

### 《自動運転移動サービス（福井県永平寺町）》

過疎化や高齢化といった地方における課題に対して、まちづくり株式会社 ZEN コネクトが提供しているレベル4の自動運転の移動サービスは課題解決に有効であり、このようなデジタル実装の取り組みは、本市における地域公共交通なども含めた持続可能なまちづくりを考える上で大変参考となりました。



### 《京丹後市定住促進奨学金返還支援制度（京都府京丹後市）》

大学等を卒業後に就職し、10年以上定住する意思があり、奨学金の返還を行う方に対して一定の条件を満たした場合、最大10年間で360万円の補助金が交付されるものであり、若者のふるさと回帰、地域の活性化に資するものでした。

本市における人口減少克服・地方創生を推進する上で大変参考となりました。



## 【生活福祉委員会】10月24日～25日

◎潮崎 憲司 ○江戸 貴志 上田 公司  
小西 努 宅川 靖次 橋本 国勝  
圃山 俊作 (◎は委員長、○は副委員長)

### 《子育て支援の取り組み（岡山県高梁市）》

高梁市では、市内外の方に「子育てするなら高梁市」と実感してもらえるよう、さまざまな取り組みで子育て世帯を全力でサポートしていました。例えば、子育てを応援する企業を「パパ・ママ・子育て応援企業」として登録し、登録企業の紹介や奨励金の支給を行い、子育てと仕事の両立を支援していました。



### 《三原児童館「ラフラフ」整備・運営事業（広島県三原市）》

児童館の課題であった中高生利用を増やすため、中高生による検討委員会を結成し、設計段階から中高生の意見を聞き整備したことが特徴の施設でした。

施設を利用する中高生や保護者などが、ボランティアスタッフとして運営に携わり、中高生の居場所づくりや地域ぐるみの子育てを実現していました。



## 【産業建設委員会】10月31日～11月1日

◎藤田 茂男 ○梶 達矢 高麗 裕之  
野田 粹之 浜 盛幸 叶井 克典  
(◎は委員長、○は副委員長)

### 《デジタル地域通貨事業（群馬県館林市）》

コロナ禍により転換した生活様式や金融機関のDXに対応するため、従来の金券発行による地域内経済の循環施策に代わり、令和5年4月より運用開始されました。地域内消費の促進や商業活性化、それに伴う税収の維持・向上により、行政サービスの維持や質の低下を防ぐことを掲げ、事業を推進していました。



### 《佐野暮らしとラーメン店創業支援事業（栃木県佐野市）》

人口減少対策・地域活性化の取り組みとして、ご当地名物である「佐野らーめん」の予備校を開設し、創業に向けて学ぶことができる環境を整えるとともに、予備校の受講生に対して最適な住まいを紹介するなど、移住と「佐野らーめん」店の創業や事業承継を併せて支援する事業でした。



# 議員が意見交換で交流～

## ◇「議会だより 125号」表紙制作者紹介 ◇



### 〈鳴門高校2年〉

ふじもと りい 藤本 璃衣 さん(201HR)  
いいに ゆうな 飯谷 友菜 さん(203HR)  
おおがま だいき 大釜 大輝 さん(205HR)  
いしはら ちよみ 石原千誉弥 さん(207HR)

にしおか さき 西岡 咲希 さん(202HR)  
おりはら あおい 折原 碧 さん(204HR)  
みきあすみ 三木明日美 さん(206HR)

### 〈鳴門高校職員〉

やまもと よしひろ 山本 義裕 教諭(公民科)

もりわきみのる 森脇 稔 教諭(公民科)

### 《表紙の説明》

「鳴門の健児」は鳴門高校校歌の最後のフレーズです。鳴門で学ぶ高校生として地域の皆様とともに鳴門市のことを考えていきたいです。今回の意見交換会が明るい鳴門のミライに繋がることを期待してこの表紙を作成しました。

## 【議員と交流しての感想】

### Q. 参加してみようと思った理由は？

- A. 自分の考えを議員に伝えてみたかったから参加しました。
- A. 議員の意見を聞く機会はなかなかないので興味を持ちました。
- A. どうすれば魅力ある鳴門になるのかを知りたかったから参加しました。
- A. 議員が鳴門のことをどれくらい考えてくれているのかを知りたかったから参加しました。



### Q. 議員と接するのは初めてだと思いますが、実際に接してみたの印象は？

- A. 思っていたより親しみやすく、話しやすかったです。
- A. 意外と考えが若くて好印象でした。
- A. 堅い印象がありましたが、高校生の意見を取り入れようとしてくれたりして、すごく柔らかい印象に変わりました。



### Q. 今回の意見交換会で心境の変化はありましたか？

- A. 選挙権がある以上、積極的に選挙に参加して自分たちの未来を変えていきたいと思いました。

### Q. これからの鳴門市議会や議員に何を期待しますか？

- A. 今回の意見交換会で各クラスから出された意見が実現すれば、もっと住みやすい鳴門市になると思うので、可能な限り実現して欲しいと思いました。
- A. 出された意見をすべて叶えることは難しいと思うので、1つでもいいので実現してくれるとうれしいです。
- A. 意見を聞くだけで終わると意味がなくなるので、前向きに検討し、1つずつでも可能な範囲で実現してくれるとうれしいです。







# ～鳴門高校の生徒と

## 《意見交換会の概要》

今回の企画では、市議会がこれからの鳴門市を担う高校生に対し質問を行い、それぞれの質問に対する回答をいただきました。具体的には、鳴門高校2年生の各クラスにおいて、市議会から提出された7つの質問の中から1つを選び、クラスでどのように回答するのかを話し合い、その結果を各クラスの代表者に発表していただき、議員と意見交換を行いました。

## 《議員から高校生への質問》

○鳴門市を住みやすいまちにするためには何が必要ですか？

鳴門高校や鳴門渦潮高校の生徒と鳴門市に在住・勤務している人との関わりを増やすことが必要だと思います。そうすることで、良好な関係を築くことができるだけでなく、体調不良時や災害時などのもしもの時に、素早く安否確認ができ、助け合いができるなど、より多くの命を救うことができるからです。【藤本 璃衣 (201HR)】

○鳴門市のイメージを県外の人に説明するとしたら？

「自然が豊かで暮らしやすいまち」と説明します。鳴門わかめや鳴門鯛などの美味しい海産物をはじめ、綺麗な海や山が魅力です。特に、鳴門の渦潮は県外の方にも知名度が高く、鳴門市の誇れる資源だと思います。【西岡 咲希 (202HR)】

○18歳から「選挙権」を持つことになりましたが、「選挙権」をどのように捉えていますか？

選挙権は自分たちの将来を決めていくことに、間接的にでも関わることができる権利だと思います。この権利を保障されている以上は、みんながそれぞれに投票する責任を負っているものだと捉えています。【飯谷 友菜 (203HR)】

○鳴門市の施策などで知っていることはありますか？

観光客の増加や少子高齢化の抑制のために、たくさんの人に「行きたい」「魅力的だ」と感じてもらう施策があることを知っていました。例えば、小学校のランドセルに代わるリュックサックの無償配布や、ウズパーク、道の駅「くるくる なる」との整備などの地域を活性化する取り組みがあります。【折原 碧 (204HR)】

○今後、鳴門市の特産品になってほしいものは？

鳴門市といえば、レンコンや鳴門金時などの農産物が有名ですが、あまり苺のイメージはないと感じています。でも、鳴門市には「うずしおベリー」というとても美味しいブランド苺があります。苺は人気が高いので、流行らせると面白いと思います。【大釜 大輝 (205HR)】

○高校生活をもっと有意義に過ごすためには、何をどう改善すればいいですか？

高校2年生は検定をたくさん受けたい時期ですが、検定料が重くのしかかり、経済的・精神的負担が大きいため、検定料の補助があるとありがたいです。それと、渡船を利用して通学しているのですが、急なエンジントラブルなどで運行停止になることがあるため、安心して通学できるスクールバスがあると嬉しいです。

【三木 明日美 (206HR)】

○もし、将来、皆さんが市長や議員になれば、どのようなまちづくりをしていきたいですか？

大型施設や遊べる場所、公共交通機関を増やして高校生の行動範囲を広げたいです。また、鳴門市とドイツは関わりが深いので、鳴門市の町並みをドイツ風にして、観光客を集めるのもおもしろいと思います。【石原 千誉弥 (207HR)】



# 令和5年第4回定例会の予定(11月28日～12月20日)

日	月	火	水	木	金	土
11月26日	27	28 開会/本会議 予算決算委員会 全員協議会	29 一般質問 通告締切	30	12月1日	2
3	4 一般質問(代表)	5 一般質問(個人)	6 一般質問(個人) 予算決算委員会	7 総務文教委員会	8 生活福祉委員会	9
10	11 産業建設委員会	12 特別委員会	13	14 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	15 本議会	16
17	18	19 全員協議会	20 本議会/閉会	21	22	23

■(赤字)はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字)はインターネット中継を行います

## ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

### 【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

- ①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会 ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要な事項をご入力の上、送信。



- ②鳴門市役所 本庁舎1階 総合案内前に設置しているご意見箱に投函。

※ご意見に対する回答はいたしません。個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があります。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。



## もっと議会を知りたい



### 【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。



### 【会議録をウェブサイトで見よう】

- ①「鳴門市議会」を検索
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索



## 《傍聴にお越しください》

令和5年第4回定例会は上記の日程で開催予定です。  
本会議、各常任委員会の傍聴に、ぜひお越しください。



### ・本会議…議場

(受付：東側階段より3階議場入口)

### ・委員会…委員会室

(受付：中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

※当日、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。傍聴券をお渡しし、係員がご案内いたします。

## 《議会広報委員会》

委員長：上田 公司  
副委員長：前田ナツ子  
委員：潮崎 憲司・小西 努・宅川 靖次  
橋本 国勝・藤田 茂男・梶 達矢  
浜 盛幸

## 編集後記

前号の鳴門渦潮高校に続き、今回は鳴門高校の皆さんに表紙を作成していただきました。今回の試みを通じて若い世代との交流の大切さを感じることができました。多忙な学校生活のなか、2校の皆さんありがとうございました。(委員長：上田 公司)

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。